



IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of

: **Confirmation No. 1298**

Nariie KANEKO

: **Docket No. 2001\_0571A**

Serial No. 09/849,968

: **Group Art Unit 3728**

Filed May 8, 2001

: **Examiner M. Patterson**

GOLF SHOES

#4  
Print  
fay  
G. fay  
1/3/02

**CLAIM OF PRIORITY UNDER 35 USC 119**

Assistant Commissioner for Patents,  
Washington, DC 20231

RECEIVED  
JUN 28 2002  
TECHNOLOGY CENTER R3700

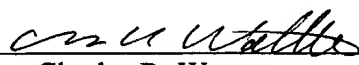
Sir:

Applicant in the above-entitled application hereby claims the date of priority under the International Convention of Japanese Patent Application No. 2001-40508, filed February 16, 2001, as acknowledged in the Declaration of this application.

A certified copy of said Japanese Patent Application is submitted herewith.

Respectfully submitted,

Nariie KANEKO

By 

Charles R. Watts  
Registration No. 33,142  
Attorney for Applicant

CRW/aeH  
Washington, D.C. 20006-1021  
Telephone (202) 721-8200  
Facsimile (202) 721-8250  
June 20, 2002

THE COMMISSIONER IS AUTHORIZED  
TO CHARGE ANY DEFICIENCY IN THE  
FEES FOR THIS PAPER TO DEPOSIT  
ACCOUNT NO. 23-0975



日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 2月16日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-040508

出 願 人

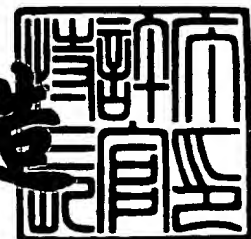
Applicant(s):

株式会社ツー・アンド・ワン

2001年 5月18日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 KP05513-32

【提出日】 平成13年 2月16日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 A43B 5/303

【発明の名称】 ゴルフシューズ

【請求項の数】 3

【発明者】

【住所又は居所】 大阪市生野区中川1丁目6番14号 株式会社ツー・ア  
ンド・ワン内

【氏名】 金子 成家

【特許出願人】

【識別番号】 592088493

【氏名又は名称】 株式会社ツー・アンド・ワン

【代理人】

【識別番号】 100074206

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区日本橋1丁目18番12号 鎌田特  
許事務所

【弁理士】

【氏名又は名称】 鎌田 文二

【電話番号】 06-6631-0021

【選任した代理人】

【識別番号】 100084858

【弁理士】

【氏名又は名称】 東尾 正博

【選任した代理人】

【識別番号】 100087538

【弁理士】

【氏名又は名称】 東尾 正博

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 009025

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705237

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ゴルフシューズ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 トップスウィングからフィニッシュに至る際に踏ん張り側となる足裏の支点となる領域の靴底の部位に密閉袋が設けられており、その密閉袋に対する空気の注入と排出が可能となっており、その密閉袋に空気を注入して膨らませることにより、前記支点となる領域に対応する部位がその周囲より盛り上がるようになっているゴルフシューズ。

【請求項 2】 上記密閉袋に対する空気の注入と排出を行う手段として、手押しポンプと解放弁とが付設されていることを特徴とする請求項 1 に記載のゴルフシューズ。

【請求項 3】 上記手押しポンプと解放弁とが舌革に埋設されていることを特徴とする請求項 2 に記載のゴルフシューズ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、正しいスウィングが可能なゴルフシューズに関する。

【0002】

【従来の技術】

図 2 (a) はゴルフのスウィングを行う前のアドレス時のゴルフア 2 0 の姿勢を示したものであり、(b) は、その時の足元(シューズ)を正面から観た状態を模式的に描いたものである。以下、図 3 にはバックスウィングの状態、図 4 (a) にはダウンスウィングに入ったときの状態、図 5 (a) はインパクトの直前の状態を示している。また、図 4、図 5 の (b) はいずれも、前記図 2 の (b) のように、その時の、足元と地面との関係を模式的に示したものである。なお、

1 1<sub>R</sub> と膝 1 2<sub>L</sub>、1 2<sub>R</sub> を突っ張らず、軽く内側に曲げて内ももを締めている。この時、ゴルフア20の足裏 1 3<sub>L</sub>、1 3<sub>R</sub> は、(b)に示したように、左右とも地面30に面着している。

【0004】

そして、スウィングが始まって、図3に示すバックスウィングを経て、図示しないトップスウィングに至るまでは、右膝 1 2<sub>R</sub> はアドレスの時の状態のまま軽く内側に向いているが、体重は主として右足 1 1<sub>R</sub> の内側（親指 1 4<sub>R</sub> 側）に掛かってくる。

【0005】

続いて、ダウンスウィングに入ると、図4(a)に示すように、右へ回転していた左腰が左へ戻され、心持ち上げられていた左足 1 1<sub>L</sub> の踵が踏み込むように地に着いて、それと同時に肩が回転するので、右に寄っていた左膝 1 2<sub>L</sub> も元の位置に戻って体重が左足 1 1<sub>L</sub> に移ってくる。

【0006】

そして、図5(a)に示すように、ボールにインパクトしてからフィニッシュに至るまでの流れでは、体重の殆どが左足 1 1<sub>L</sub> にかかってくるので、特に、小指 1 5<sub>L</sub> 側の踏ん張りが必要となってくる。

【0007】

【 0 0 0 9 】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、この発明は、トップスウィングからフィニッシュに至る際に踏ん張り側となる足裏の支点となる領域の靴底の部位に密閉袋が設けられており、その密閉袋に対する空気の注入と排出が可能となっており、その密閉袋に空気を注入して膨らませることにより、前記支点となる領域に対応する部位がその周囲より盛り上がるようになっている構成のものとしたのである。

【 0 0 1 0 】

このようにしたので、その密閉袋に空気を注入した状態のシューズを履けば、ダウンスウィングの際には、その密閉袋の膨らみの分、踏ん張り側となる足裏の支点の部分が持ち上げられるので、体重が移動してきても、その支点の部分の持ち上がりによって踏ん張り側の足を踏ん張らせることができ、正しいスウィングをすることができる。この支点の部位とは具体的には小指を含むその近傍の領域のことである。

【 0 0 1 1 】

そして、スウィングが終了した後は、密閉袋内の空気を排出すれば、密閉袋が扁平になるので、通常の歩行が可能な状態となる。

【 0 0 1 2 】

その空気の注入および排出の手段として、手押しポンプと解放弁をシューズに付設するようにすれば、それらの手段がシューズと別体となっているものに比べて、紛失のおそれもなく、便利で商品価値も高い。

【 0 0 1 3 】

その際、その手押しポンプと解放弁を舌革に埋設するようにすれば、空気を注入する際、あるいは、解放の際も、立ったままの姿勢で、例えば、ゴルフクラブの握りの先端等で、ポンプ、および、解放弁を押圧して操作できるので、腰を屈める必要がなく、楽である。

【 0 0 1 4 】

【発明の実施の形態】

施形態のゴルフシューズ 10 のその特徴的要部を示すための模式図であり、(b) はその側面図である。

【0015】

図に示すように、シューズ 10 の足裏に面着する中敷き 1 の裏の小指を含むその近傍の領域に対応する部位に、薄手のビニールで形成された密閉袋 2 が固着されている。この小指を含むその近傍の領域というのが、ダウンスウィングで左足に体重が掛かってきた際に、踏ん張るための支点となる領域である。

【0016】

前記密閉袋 2 は、薄手のビニールの板 2 a を二枚合わせて、その周囲を接着して形成したものであり、空気を注入すると、(b) に一点鎖線で示したように、上下方向（厚み方向）に膨らむようになっている。この密閉袋 2 にビニールチューブ 3 の一端が接続されており、そのチューブ 3 の他端に、前記密閉袋 2 内に空気を注入する手押しポンプ 4 とその解放弁 5 とが接続されている。この手押しポンプ 4 と解放弁 5 は舌革 6 に埋設されている。

【0017】

その手押しポンプ 4 を操作して前記密閉袋 2 に空気を注入してそれを膨らませた状態でシューズ 10 を履くと、小指の部分が持ち上がった形になる。

【0018】

その状態でスウィングすると、前出の図 4、図 5 それぞれの (c) に示したように、ダウンスウィングやインパクトの時に小指 15<sub>L</sub> 側に体重が移動してきて、その密閉袋 2 の膨らみによる小指 15<sub>L</sub> の部分の持ち上がりによって左足 11<sub>L</sub>（左利きの場合は右足 11<sub>R</sub>）を踏ん張らせることができる。従って、他の



【 0 0 2 0 】

なお、この実施形態では、手押しポンプ 4 とその解放弁 5 を舌革 6 の部分に設けたので、前記密閉袋 2 に空気を注入する際には、立ったままの姿勢で、ゴルフクラブの握りの先端等でその部分を押圧して空気を注入できるので楽であり、空気を抜くときも同様である。

【 0 0 2 1 】

また、そのような操作の際の姿勢の苦楽を厭わなければ、ポンプ 4 および解放弁 5 の配設箇所は舌革 6 の部分に限られることはなく、踵の部分、側面の部分、また、甲の部分等、靴のあらゆる部分に配設することが可能である。

【 0 0 2 2 】

【発明の効果】

この発明のゴルフシューズは上記のように構成したので、特に、シニアのゴルフアのように下半身に衰えのあるゴルフアの場合に、このシューズに埋設された密閉袋を膨らませて踏み込み足側の支点となる領域（小指を含むその近傍の領域）を持ち上げれば、トップスウィングからフィニッシュに至る流れの中で、踏み込み足側を安定して地面に据えることができるて正しいスウィングできる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

（a）にこの実施形態のゴルフシューズの模式図を示し、（b）にその側面を示したものである。

【図 2】

（a）にアドレスの時のゴルフアの姿勢を示し、（b）にその時の足元の地面との関係を模式的に示したものである。

【図 3】

バックスウィングの時のゴルフアの姿勢を示したものである。

【図 5】

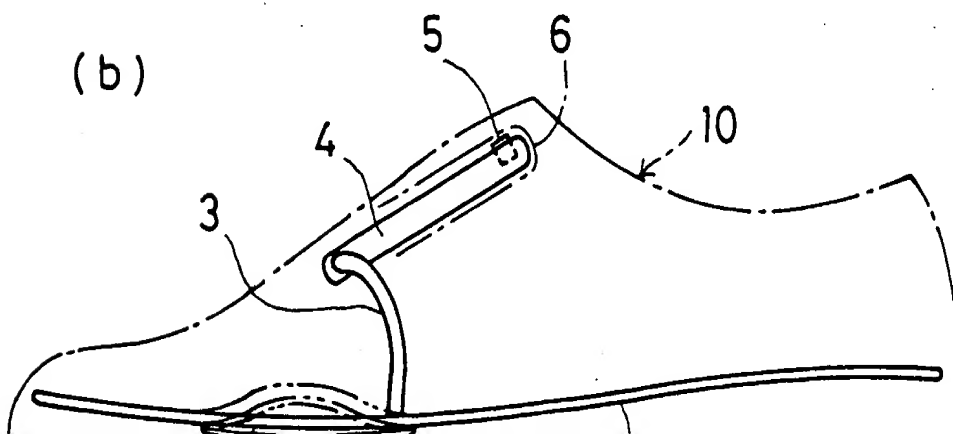
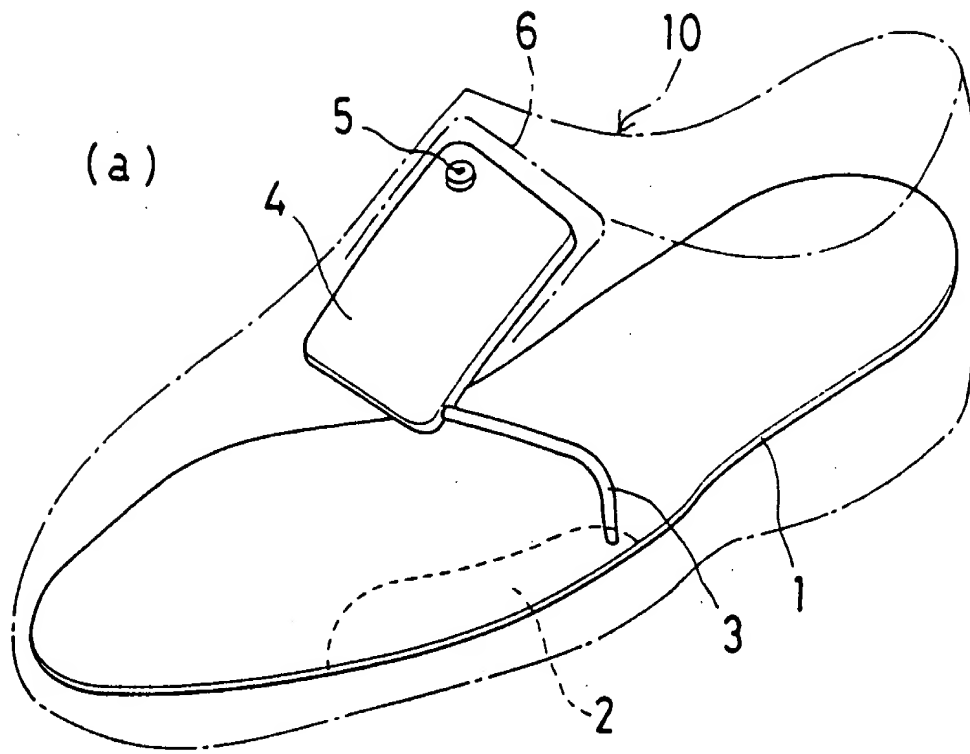
(a) にインパクトの時のゴルフアの姿勢を示し、(b) と (c) それぞれに、従来のシューズを履いてプレーした場合と、この実施形態のシューズを履いてプレーした場合の足元の、地面との関係を模式的に示したものである。

【符号の説明】

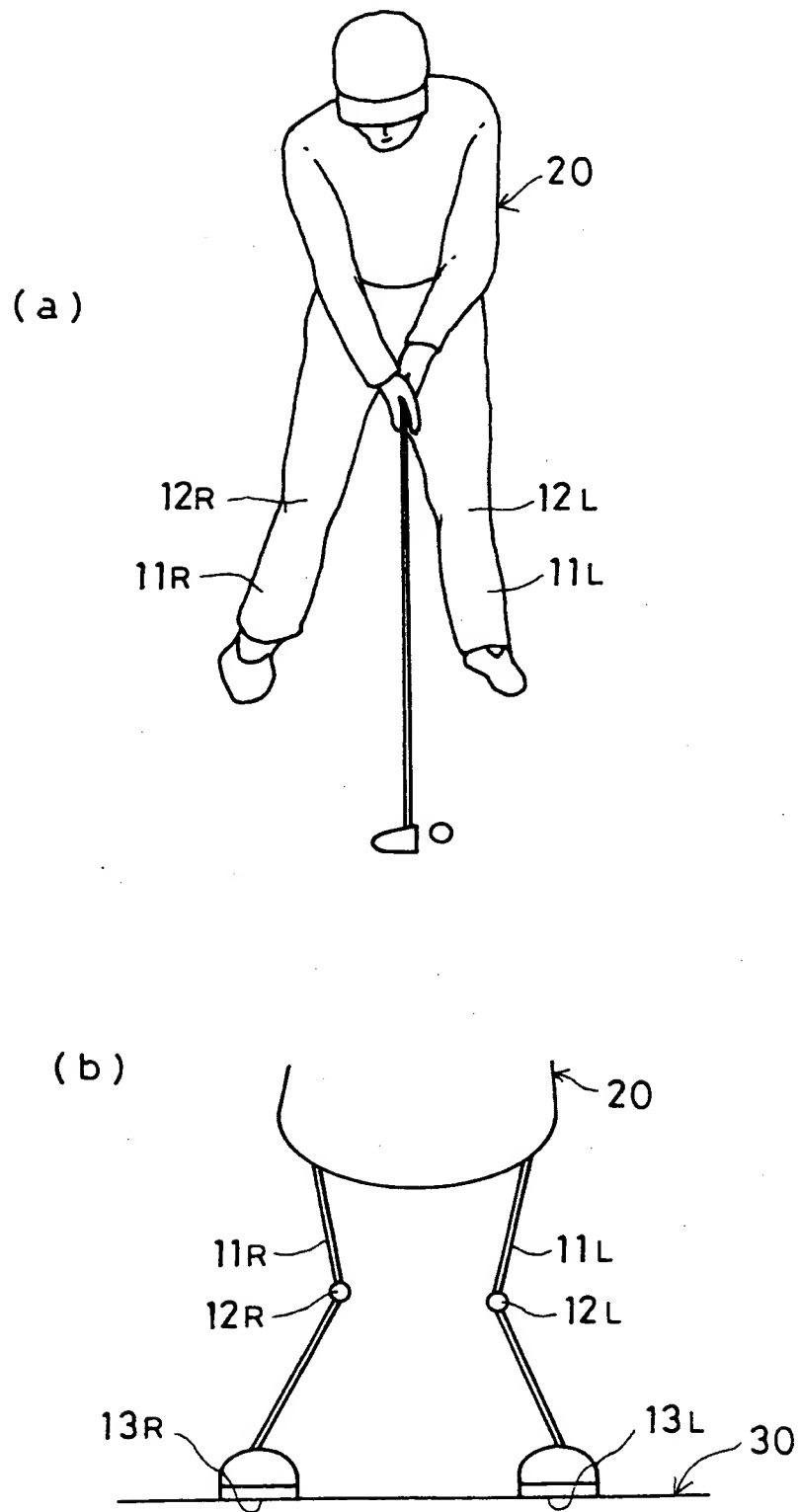
- 1 中敷
- 2 密閉袋
  - 2 a ビニール板
- 3 ビニールチューブ
- 4 手押しポンプ
- 5 解放弁
- 6 舌革
- 1 0 ゴルフシューズ
  - 1 1<sub>L</sub>、1 1<sub>R</sub> 左右の足
  - 1 2<sub>L</sub>、1 2<sub>R</sub> 左右の膝
  - 1 3<sub>L</sub>、1 3<sub>R</sub> 左右の足裏
  - 1 4<sub>L</sub>、1 4<sub>R</sub> 左右の足の親指
  - 1 5<sub>L</sub>、1 5<sub>R</sub> 左右の足の小指
- 2 0 ゴルフア
- 3 0 地面

【書類名】 図面

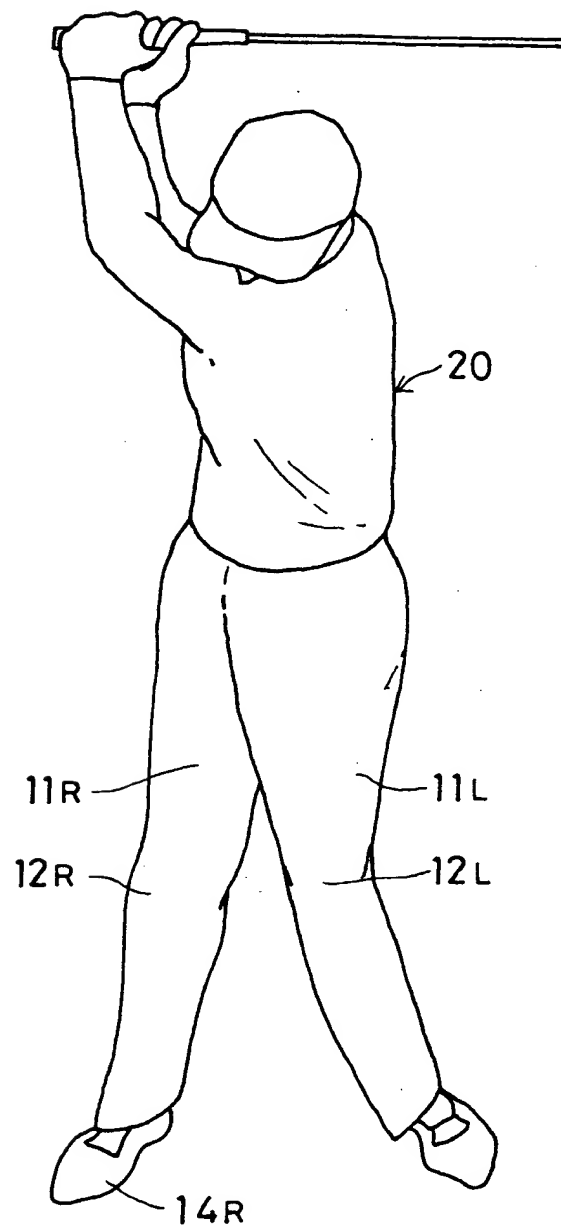
【図1】



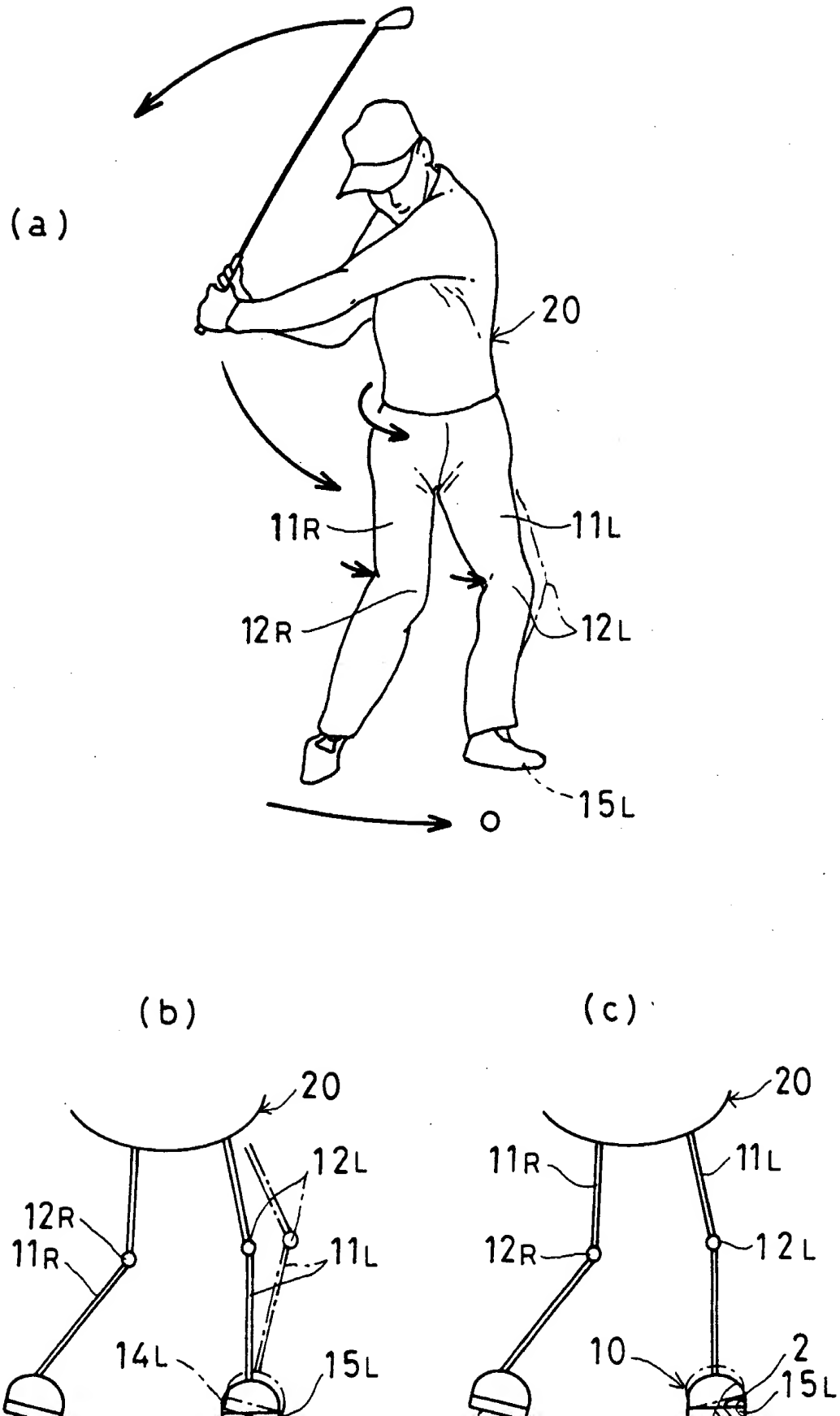
【図 2】



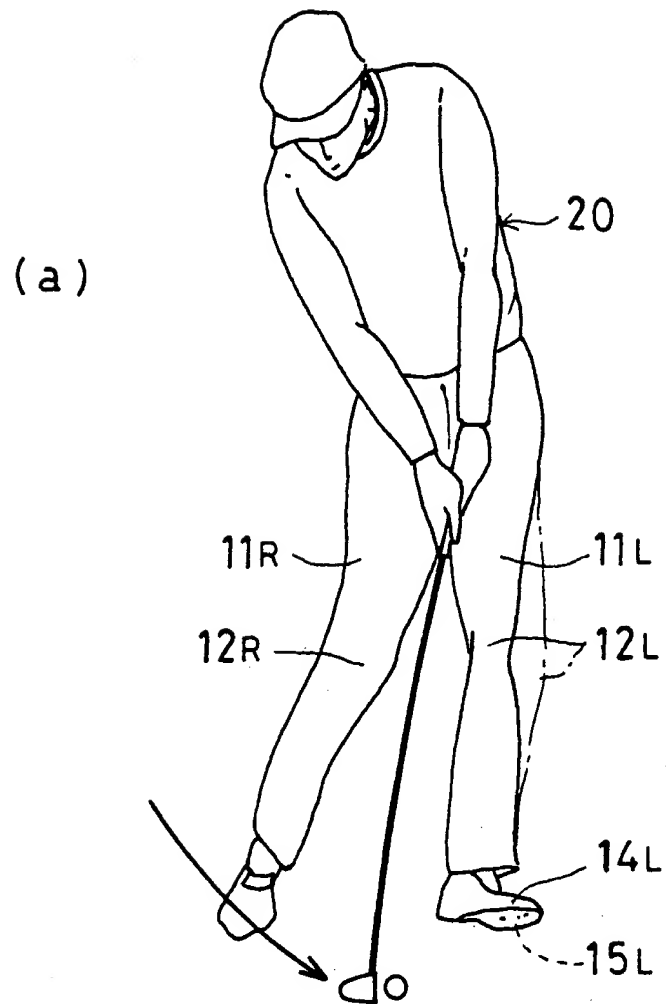
【図 3】



【図4】



【图 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 シニア等、下半身に衰えがでてきたゴルファに対し、ダウンスウィングの際、足の踏ん張りが効くようにする。

【解決手段】 シューズ 1 0 の足裏に面着する中敷き 1 の裏の小指に対応する部位にビニールで形成した密閉袋 2 を固着し、この密閉袋 2 にビニールチューブ 3 を介して手押しポンプ 4 と解放弁 5 を接続する。手押しポンプ 4 と解放弁 5 は舌革 6 に埋設する。手押しポンプ 4 を操作して密閉袋 2 に空気を注入してそれを膨らませた状態でシューズ 1 0 を履くと、小指の部分が持ち上がり、その状態でスウィングすると、ダウンスウィングやインパクトの時に小指側に体重が移動してきても、その密閉袋 2 の膨らみによる小指の部分の持ち上がりにより、右利きのゴルファの場合は、左足を踏ん張らせて正しいスウィングができる。スウィング終了後は密閉袋 2 から空気を抜くと、普通の歩行が可能となる。

【選択図】 図 1



出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [592088493]

1. 変更年月日 1992年 4月21日

[変更理由] 新規登録

住 所 大阪府大阪市生野区中川1丁目6番14号

氏 名 株式会社ツー・アンド・ワン